



# Yonago East Weekly

【生涯の友と共に、扉を開く】

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel (0859) 32-5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ANAクラウンプラザホテル米子  
米子市久米町53-2 Tel (0859) 36-1111
- 会長/西村正男 ●幹事/足立博俊 ●会報/面谷博紀

## 出席報告

会員数 107 名  
出席数 60 名 欠席数 41 名  
出席免除会員 6 名 荒川(雄)君 杉原(弘)君  
新納君 佐田山君(有) 宮本(守)君 高橋君  
出席率 60.10 %

## ビジター

### メイクアップ

会員11名(11/25元会長会) 会員11名(11/25親睦活動委員会)

## 今週のお祝

**結婚記念日祝:**1日 中田智尚君 3日 荒川圭三君 伊藤慎哉君 13日 宮本 守君 17日 西村正男会長 18日 黒見純治君 22日 秦野啓一君 漆原輝之君 23日 船田正一君  
**スマイルBOX** 20,000 円 (534,000 円)  
夫人誕生祝:井上(賢)君、岩崎(稔)君、澤君  
**結婚記念日祝:**船田君、秦野君、伊藤君、宮本(守)君、中田君、西村(正)会長 **創立記念祝:**澤君 11/23米子東RCゴルフコンペにて、40、37、77でベスグロ優勝しました。:佐田山(有)君

## 会長挨拶

今日の例会も皆さんにたくさん集まっていたいて、このように開くことが出来る事を喜んでおります。

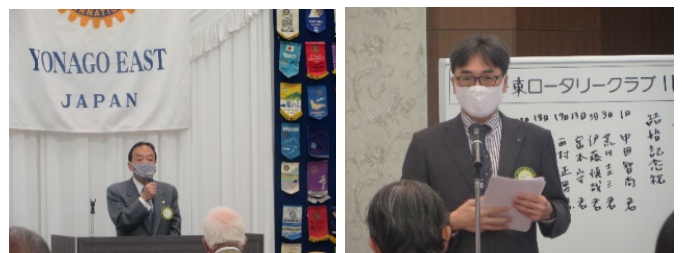
コロナにつきましては今、我が国では第三波が押し寄せ、世界中でも大変な事になってきております。幸いなことに鳥取県では今日の新聞では54人でした。岩手県がずっと0人だったところが170人を超えてきて、ダントツで鳥取県がいい状況です。この前相撲が終わったのですが、コロナが終わった時に一番良かった所に天皇賜杯でも出るといいかなと思っています。

この前小林会員のご案内で、今度は歩かずに自動車であそびに行きまして、施設を見学させていただいて参りました。立派な施設ですし、コロナの対策に色々力を尽くしておられるところを見せていただいて感心いたしました。

次に大きな行事がクリスマス家族例会という事になりますが、家族も併せて100名くらいの応募があったようで、皆さんやっぱり集まって楽しむ事を喜んでおられるのだろうな、という事をひしひしと感じた所でございます。親睦活動委員会の方に大変お世話になる事でございますけれども、例年であればどう盛り上げるか、という所に力を入れられるのでしようけれども、今年はあまり盛り上がっちゃいかん、みたいな複雑な所でございますが、広い部屋で、隣の人とも1.5メートル位間をあけて座るなど、苦勞して開く準備をされているように聞いております。中田理事をはじめ、委員会の皆様のご尽力にご期待しながら待ちたいと思っている所でございます。

## 幹事報告

- (1)本日例会終了後、年次総会開催
- (2)年次総会終了後、元会長会(3F鳳)
- (3)12/9クリスマス家族会  
会員50名+ご家族43名(11/24現在)
- (4)「2019-20年度国際ロータリー第2690地区  
地区活動報告書」(古瀬地区直前ガバナーより)
- (5)例会変更のお知らせ  
米子中央RC 12/3(木)休会 ビジター受付なし  
米子南RC 12/7・14(月)休会                    "  
松江しんじ湖RC 12/8(火)休会  
12:00~12:30ビジター受付あり



R財団委員会 荒川圭三リーダーより現状報告  
・100万ドルのランチ:2千ドル(208,000円)寄付  
・ポリオへの寄付:30ドル/人x107名 計333,840円寄付  
・年次寄付:7,616ドル(792,340円)寄付  
・WHO学術情報(8月25日):アフリカ47か国において野生型ポリオウイルス根絶発表があった  
皆様のご協力に感謝します。



ロータリーは機会の扉を開く  
**ROTARY OPENS OPPORTUNITIES**

## <本日のプログラム>

「コロナ禍におけるプロスポーツ」  
株式会社SC鳥取 代表取締役社長  
塚野真樹氏



プログラム委員会 岩崎稔リーダー挨拶

プログラム委員会の今年度の方針として、「全メンバーが経験したことのない先行き不透明な環境の中、ロータリアンとして有意義な活動をするための知識、知恵、そして勇気を得られる時間を創造し、「新たな時代を切り開くための専門的外部講師をお招きすること」を計画の一つとして挙げています。

コロナ禍にあって例会の回数も少ない中、今日はようやく塚野真樹さまを外部講師として招くことができました。

プロフィール

- ・昭和45年10月生まれ 50歳
- ・米子市出身
- ・米子東高等学校卒業後、早稲田大学進学
- ・本田技研工業サッカー部：プロ契約
- ・平成7年からJリーグ“ヴィッセル神戸”に3年間在籍  
鳥取県初のJリーガー！
- ・現在、ガイナレ鳥取代表



以下、お話しいただいた内容の要点です。

- ・30歳の時にガイナレ鳥取に関わって20年
- ・ガイナレは今、佳境を迎えている。残り5試合で現在順位は6位。2位になるとJ2に復帰ができる。2~6位が勝ち点3の中にいて混戦。残り5試合まで試合ができたというのが実感。
- ・2月下旬に開幕予定であったが、コロナ感染拡大に伴い中断となった。
- ・プロ野球球団社長、Jリーグ理事、コロナ感染症の専門家が集まってコロナウィルス連絡会議をすぐに立ち上げて、自分も参加させていただいている。会議は2週に1回。現在21-22回になる。
- ・選手は自宅待機。先が見えないことに対して、体調を崩したり、鬱になってしまったらどうしようというのがリーグとしての最初の問題だった。スポーツ選手は休むとみるみる体が衰えて、それが自分でもわかる。

・鳥取は感染者数が少なく、YAJINスタジアムがクラブ自前の施設だったので、5月ゴールデンウィーク明けに練習を再開できた。他のクラブの8-9割は公共の施設であったため練習ができなかった。

・中断4か月間。7月の頭に何とか試合再開。

・最初は無観客だったが、徐々に観客を増やし、現在、収容人数の50%まで入場可能。多いところでは2万人まで観客が戻っているところもある。おそらく世界でも日本だけ。世界で一番先行している。2月の時点でプロ野球といっしょに準備を慎重に進めていった成果。

・コロナに関してだんだんわかってきたことが二つある。

○潜伏期間は2日から2週間程度

1-3日で発症：飛沫感染 ウイルス量が多い

2週程度で発症：接触感染 ウイルス量が少ない

○1か月半前の会議で、治療の実績が積み重なってきて、治療が見えてきたという明るい話

・選手はスマートフォンにアプリを入れて、行動履歴を全部報告しないといけない義務がある。

・2週間に一度、隔週の金曜日に唾液によるPCR検査を行っている。1回15000円(本部負担)。56クラブ約3500人の関係者に行う。1回5000万、年間8億円かかる。

・残り5試合。経営者としてのお話：入場料収入は前年度と比べるまでもない。あきらめるしかない。子供たちのサッカースクールも活動中止。グッズ関連、全く売れない。経営的にはいいことは一つもない。1月末が決算だが、56クラブのうち8割は大赤字。半分は債務超過。業種として成り立たない状態。やめたクラブはなく何とか頑張っているが、どうやってやっていくのかが見えていない。しかし何とかやっていかないといけない。

・ガイナレの昨年の観客の平均は2200名。このコロナ禍の中で1100-1500名来ていただいている。“久しぶりですねえ”と声をかけて涙ぐまれるお客さんが結構いる。

・次どうなるか、まだ見通せない状況。日本ではまだないが、ヨーロッパではクラブがつぶれてきている。

・見通しが立たない中、真っ暗の中で頼りになるのは勇気だと思います。周りの皆さんにお伝えるために、アウトプットしていかないとと思いますが、そのためにはパワーが必要。勇気とか情熱とかこうなったらいいんじゃないか、こうしたいとかという意欲とか意思とかだと思います。

スポーツはまさしく見通しが立たない、筋書きがない、そこが魅力であり、かけがえのない価値があると思っています。こういう状況だからこそ勇気をもって取り組むことが必要と思っています。引き続きご注目いただければと思います。



次回プログラム

12/2 「新型コロナウイルス感染拡大を受けて」  
株式会社A&M 商品企画兼開発技術課  
課長 矢吹謙二氏